

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月9日 (2009.7.9)

【公表番号】特表2009-511422(P2009-511422A)

【公表日】平成21年3月19日 (2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2008-514698(P2008-514698)

【国際特許分類】

C 0 7 C 311/08 (2006.01)

C 0 7 D 333/36 (2006.01)

A 6 1 K 31/381 (2006.01)

A 6 1 K 31/18 (2006.01)

C 0 7 D 213/76 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

C 0 7 D 409/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/41 (2006.01)

A 6 1 K 31/4196 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/277 (2006.01)

C 0 7 D 257/04 (2006.01)

C 0 7 D 231/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/415 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 25/36 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 311/08 C S P

C 0 7 D 333/36

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/18

C 0 7 D 213/76

A 6 1 K 31/44

C 0 7 D 409/10

A 6 1 K 31/41

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/277

C 0 7 D 257/04 C

C 0 7 D 231/12 A

A 6 1 K 31/415
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 25/18
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/16
 A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 25/14
 A 6 1 P 25/08
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 21/02
 A 6 1 P 25/30
 A 6 1 P 25/32
 A 6 1 P 25/36

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

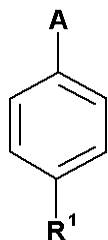
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I :

【化 1】

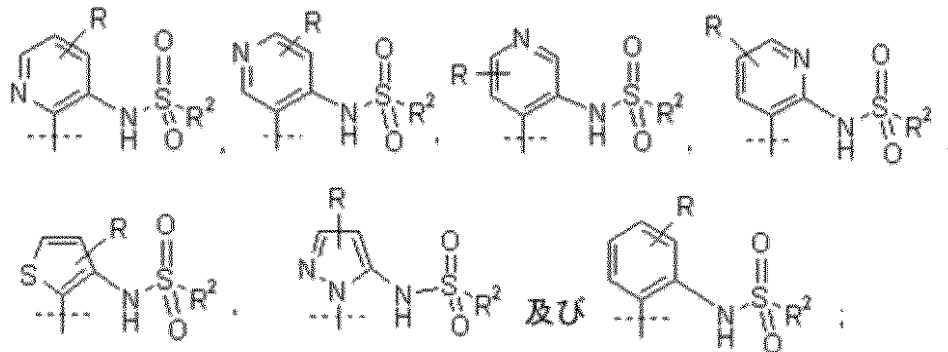


I

[式中、

A は、式 :

【化 2】



で示される基からなる群より選ばれ ;

R は、H、ハロ、-COOH 又は -CH₂COOH であり ;

R¹ は、ハロ、シアノ、C₁ ~ C₄ アシル、-COOH、-NHR³、C₁ ~ C₂ アルキル (

- NHCH_3 、- $\text{N}(\text{SO}_2(\text{C}_1 \sim \text{C}_3 \text{アルキル}))_2$ 、- COOH 、- CONH_2 、シアノ、ヒドロキシ又はテトラゾール-5-イルで置換されている)、- OCH_2COOH 、- SCH_2COOH 、- $\text{C}(\text{O})\text{CH}_2\text{CH}_2\text{COOH}$ 、- SO_2NH_2 、テトラゾール-5-イル、及び1, 2, 4-トリアゾール-1-イルからなる群より選択される第1の置換基で場合によっては置換されており；ハロ、トリフルオロメチル、シアノ、ニトロ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルコキシ、ヒドロキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキルチオ、- NHCH_2CN 、- OCH_2CN 、- $\text{NH}\text{SO}_2\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、及び- $\text{C}(\text{O})\text{NHR}^4$ からなる群より選択される第2の置換基で場合によってはさらに置換されており；ハロ及びシアノからなる群より選択される第3の置換基で場合によってはさらに置換されており；ハロからなる群より選択される第4の置換基で場合によってはさらに置換されている、フェニルであり；

R^2 は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキル又はジメチルアミノであり；

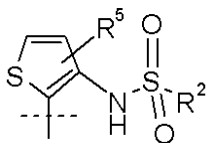
R^3 は、- $\text{SO}_2(\text{C}_1 \sim \text{C}_3 \text{アルキル})$ 、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アシル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキル、又は水素であり；

R^4 は、水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ アルキル、又は- $\text{SO}_2(\text{C}_1 \sim \text{C}_4 \text{アルキル})$ である]で表される化合物、又はその薬理学的に許容できる塩。

【請求項2】

Aが式：

【化3】



で示される基である、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

R^2 がイソプロピルである、請求項2記載の化合物。

【請求項4】

2-シアノ-4'-[3-(プロパン-2-スルホニルアミノ)チオフエン-2-イル]ビフェニル-4-カルボン酸化合物又はその薬理学的に許容できる塩。

【請求項5】

2-エトキシ-4'-[3-(プロパン-2-スルホニルアミノ)チオフエン-2-イル]ビフェニル-4-カルボン酸化合物又はその薬理学的に許容できる塩。

【請求項6】

請求項1から5のいずれか記載の化合物を、薬理学的に許容できる担体、希釈剤または賦形剤とともに含有する、医薬製剤。

【請求項7】

請求項1から5のいずれか記載の化合物の、アルツハイマー病の治療用医薬品の製造のための使用。

【請求項8】

請求項1から5のいずれか記載の化合物の、パーキンソン病の治療用医薬品の製造のための使用。

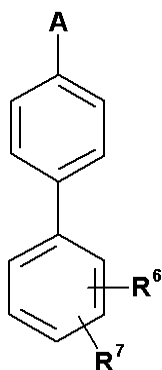
【請求項9】

医薬として用いられる、式Iの化合物。

【請求項10】

式II：

【化 4】

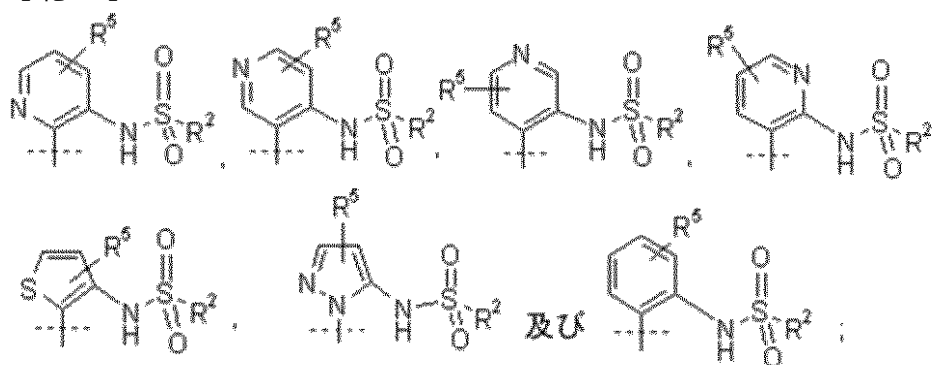


I I

[式中、

A は、式：

【化 5】



で示される基からなる群より選ばれ；

 R^2 は、 $C_1 \sim C_4$ アルキル又はジメチルアミノであり； R^5 は、H、ハロ、 $-COOR^8$ 、又は $-CH_2COOR^8$ であり； R^6 は、H、シアノ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、ハロ、ヒドロキシ、トリフルオロメチル、又はメチルチオであり； R^7 は、 $-COOR^9$ 、 $-C(O)CH_2CH_2COOR^9$ 、 $-OCH_2COOR^9$ 、 $-SCH_2COOR^9$ 、又は $-COOR^9$ で置換された $C_1 \sim C_2$ アルキルであり； R^8 及び R^9 は、 R^8 及び R^9 の少なくとも一方が水素以外であるという条件で、それぞれ独立して、水素及び $C_1 \sim C_4$ アルキルからなる群より選択される]

で示される化合物又はその塩基付加塩。